

【資料 1】

令和2年度 青森市国民健康保険事業特別会計の決算状況について

1 国民健康保険事業特別会計決算状況等

(単位：千円)

款	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度増減額	詳細説明番号
1 国民健康保険税	5,123,269	5,008,906	4,978,788	△ 30,118	①
2 使用料及び手数料	2,691	2,568	2,607	39	
3 国庫支出金	388	2,539	100,204	97,665	②
4 県支出金	20,609,120	20,553,121	19,564,453	△ 988,668	③
5 財産収入	15	38	13	△ 25	
6 繰入金	2,680,879	2,802,422	2,572,436	△ 229,986	④
7 繰越金	601,010	366,118	20,719	△ 345,399	⑤
8 諸収入	176,051	122,038	130,824	8,786	
歳入合計	29,193,423	28,857,750	27,370,044	△ 1,487,706	
1 総務費	425,406	386,324	427,330	41,006	⑥
2 保険給付費	19,890,864	19,860,973	18,838,788	△ 1,022,185	⑦
3 共同事業拠出金	4	5	5	0	
4 国民健康保険事業費納付金	7,354,337	8,016,391	7,665,303	△ 351,088	⑧
5 保健事業費	319,385	314,506	286,931	△ 27,575	⑨
6 基金積立金	300,520	183,097	10,374	△ 172,723	⑩
7 諸支出金	536,789	75,735	72,724	△ 3,011	
8 予備費	0	0	0	0	
歳出合計	28,827,305	28,837,031	27,301,455	△ 1,535,576	
歳入歳出差引額（決算剰余金）	366,118	20,719	68,589	47,870	

2 国民健康保険事業財政調整基金の推移

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度増減額	詳細説明番号
前年度末残高	25,870	326,390	316,656	△ 9,734	
積立額	300,520	183,096	10,374	△ 172,722	上記⑩と同じ
取崩額	0	192,830	0	△ 192,830	⑪
年度末残高	326,390	316,656	327,030	10,374	

3 令和2年度決算の概況

国民健康保険税等の歳入確保や歳出の県に対して支払う国民健康保険事業費納付金が前年度から減額となったことなどにより、財政調整基金を取り崩すことなく歳入歳出差引額68,589千円の黒字決算となった。

4 前年度増減額の詳細説明 ※上記1に示した「前年度増減額」の理由は以下のとおりです。

番号	説 明
①	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方への国保税減免（総額94,257千円）、国民健康保険被保険者数の減少（R1平均：60,680人→R2平均：59,372人）、国保税の収納率の向上（前年度比：現年0.56P、滞納繰越2.61P改善）
②	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方への国保税減免に対する国補助金の増
③	コロナ禍における医療機関の受診控え等に伴い保険給付費（歳出）が減少したことによる県交付金の減
④	令和2年度における国保特別会計の収支状況が前年度から改善したことによる基金繰入金の皆減
⑤	決算剰余金が平成30年度の366,118千円から令和元年度の20,719千円に減少したことによる減
⑥	令和2年度に職員1名が退職したことに伴う退職手当の支給等による増
⑦	コロナ禍における医療機関の受診控え等に伴う保険給付費の減
⑧	医療費の推移等を基に県が算定した結果による減
⑨	コロナ禍における外出自粛等の影響により各種健診・検診の実績が減少したこと等による減
⑩	令和元年度の決算剰余金が平成30年度に比べ減少したことによる減（決算剰余金の1/2を基金に積立）
⑪	国保税等の歳入確保や国民健康保険事業費納付金が前年度から減額となったこと等による収支の改善